

大自在

既に7割が内定を得たという調査結果もあるから、来春卒業予定の大学生の就活は終盤のようだ。前のめりの短期決戦を駆け抜け、これでよかったのかと「内定ブルー」に陥る学生もいるという▼新入社員の3割以上が3年以内に辞めるという。彼、彼女にとって「いい会社」ではなかったという事になるだろう。それを企業研究不足と言ってしまうのは元も子もない。新卒一括採用のひずみとも言えよう▼「会社の事情に社員が合わせるのではなく、育児、介護、病気など社員の事情に会社が合わせる」と、働き続けられる安心感を重視する中小企業経営者の講演を聴いた。「ありえないレベルで人を大切にしたら23年連続黒字になった仕組み」(2017年)の著者、日本レジャー(東京)の近藤宣之会長。大切にしたい人とは、社員のことだ▼同社は研究・産業用レーザー機器などを輸入販売する従業員約70人の専門商社。革新的経営や働き方改革の先進企業として受賞多数。人を大切にする経営学会の坂本光司会長(元法政大学院教授)らの共著「日本でいちばん女性がいきいきする会社」(19年)も取り上げた▼このような経営者や経営学者の著作を読むのも就活準備になると思う。日本レジャーは通年・随時採用が基本だが、近藤会長の著書を読んで門をたたいた就活生もいた▼同社は、社員教育を戦略的投資に位置付ける。全社員に英語検定の受験を義務付け、一定得点未満は昇給・昇格の対象外。近藤会長は「社員を大切にすることが、甘やかさない」と、実践する人事制度を説く。

2019.6.11